



# スカウト 浄土

## The Scout Jōdo

### アンノンソルジャー

浄土宗スカウト連合協議会

理事長 溪 逸 郎



かつて日本連盟の総長であった三島通陽氏の随想録「音なき交響楽」を見ると、その冒頭にアンノンスカウトという一文とアンノンソルジャーというお話が紹介されている。

二つめのお話は第二次世界大戦のさなかのこと、南太平洋の小さな島でアメリカ軍と日本軍が死闘を繰り返していたときの事です。

死闘というのは命がけの戦いという事で、人間同士が殺しあう戦争などということの無い、平和な世界を作り上げなければなりません、今から五〇何年か以前は世界中が、

血を血で洗う、不幸な戦争をしていたのであります。

負傷のために気を失って倒れていた一人のアメリカ兵が、ふと気が付くと、負傷の傷が手当されて、日本兵の走り書きのメモがその包帯に挟んであったのです。「あなたは三指のスカウトサインをして倒れていました。僕も子供のころはスカウトでしたから兄弟だと思っ手当をしておきます。」

戦争が終わった時、そのアメリカ兵は、自分を助けてくれた此の日本兵を探しました。

「もしも、此の日本兵が、血止の処置をしておいてくれなかったら、きっと私は其の戦場で死んでいただでしょう。命を救ってくれた其のスカウトに会いたい、会ってお礼がしたいのです。」

ボーイスカウト日本連盟も

協力して探したのですが、ついに「それは私でした」と名乗る人は現れませんでした。その日本兵は、わざと名乗って出なかったのでしょうか、あるいはまた戦死してしまったのでしょうか。此の日本兵の事をアンノンソルジャーというのです。

世界のスカウトは兄弟である。いや全人類はすべて兄弟である。僕達スカウトは、全人類の幸せのために役立って行きたいのです。

人々の幸せのために働くものを、仏教では「菩薩」といいます。ベーデンパウエル卿は「スカウトは神のチームの一員として働く」という言葉を残しておいでになりますが、私たち仏教スカウトは、仏のチームの一員として、世の人々の幸せのために、菩薩の道を踏み締めて行かねばなりません。

共に手を取って頑張ろう。世の人々の幸せのために菩薩として修行者として、スカウトとして、価値ある人生を生きて行くにはありませんか。

# 仏教章研修会事前研修について

日本ボーイスカウト東京連盟

八王子11団ローパー隊長 木村良成

## 三指

いつも八王子地区において浄土宗仏教研修会の事前研修をしておりますが、その時の問題点と今後の展開等について述べていきたいと思えます。

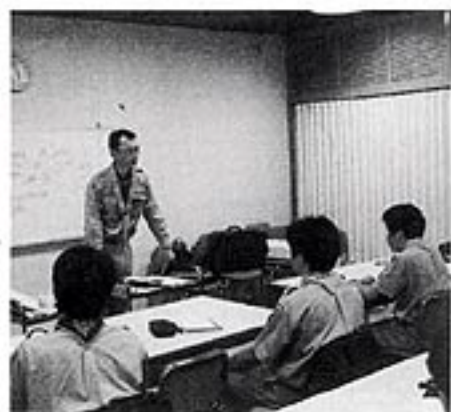
現在、スカウトが本研修において事前研修の内容が効果的に現れるかという点、やはり本研修の一週間以内に事前研修が行われるのが良いと思われ、三月の末になると、学校行事も、学年末考査や卒業式、そしてその後の指導、修了式と目白押しとなつてきており、また各寺院においても彼岸という年間でも忙しい時期に入つてきます。その中でいかに指導者とスカウト達が都合をつけていくかといったことが問題となつてきます。八王子地区からも各年によつて参加者の人数にばらつきがあるため、少人数の時は日曜日の昼間や夜間に数回に分けて事前研修を行いました。また、人数が多いときは八王子市の市民センター（有料）を地区から予算を頂いて学校休業日に一斉に行い

ました。

八王子地区はボーイスカウトの団が十五個団有ります。はじめは昭和二八年に一団が発足し、その後人数が多くなるにつれ分封していったという全国でもここ八王子にしか例のない全十五個団が兄弟団という非常に横の連携が強い場所です。従つて今回も私の所属する十一団で研修するのではなく、八王子市内や周辺の市から市民センターへ来ての研修となりました。このような市民センターでの研修は練習時に木魚や鉦の音が出せないのがネックとなりました。

今後においては、より良き浄土宗スカウトを輩出するために、事前指導とともに事後指導も充実させていかなければならないと思つてます。八王子地区には数々の地域や仏教行事に関連した奉仕活動があります。当面はそれらに出席するよう促すことを今後の課題としていきたいと思つてます。

弥栄



# 第45回 浄土宗スカウト仏教章研修会

日 時▶平成14年3月27日(水)~29日(金)

場 所▶大本山 増上寺



朝の体操



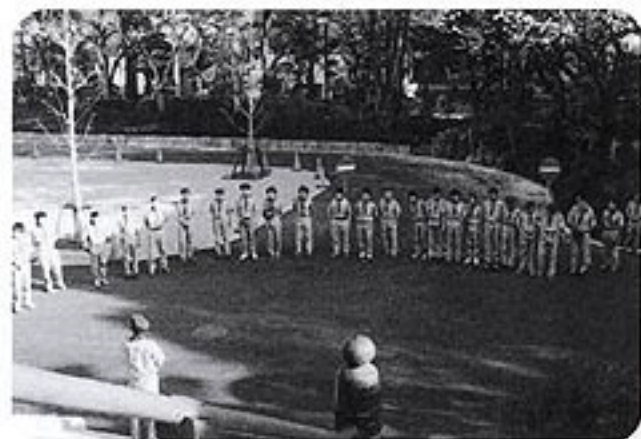
朝礼風景 1

平成十三年八月二十日から二十二日迄の仏教章研修会が中止となったため受講希望者が待ち望んでいた仏教章研修会が東京芝の大本山増上寺を会場に平成十四年三月二十七日から二十九日迄の三日間開催されました。

主任講師は、浄土宗スカウト連合協議会副理事長岡本圭司先生で参加者は三十八名でした。



講 議



朝礼風景 2



朝礼風景 3



帰敬式

# 仏教章研修会感想文

所属班 持戒班 藤堂 俊行

## ① 仏教章研修会全体について

講話からはじめて、生活のひとつひとつ、すべてが研修であり、二泊三日日本当に充実した内容の研修会であったと思います。

## ② 「仏教」について

仏教も、日本全国、世界全国にあり、姿・形が違えども根本的な部分というのは同じであるんだなという事を感じました。

## ③ 「法然上人」について

法然上人が人生をすべてつぎこんできた仏教とは、どれほどの力があるのかという事を不思議に思いました。

## ④ 「阿彌陀様」について

阿彌陀様が存在するという事を信じてもいいだろうと思います。なぜなら究極な部分を突きとめていくとそういう超絶的なものがあるように感じられるからです。

## ⑤ 「帰敬式」について

帰敬式を大切な自分の出発点としていきたいです。それは、仏教徒として、また富士スカウトとして、真のスカウト・テイピングの出発点としていきたいです。

⑦ 「自分自身がこの研修会を終え、今後のスカウト活動に如何に取り組むか」について

立派な大人になろうとするには色々な側面から多角的に物事を見て、自らを成長させたいと思います。それをまとめる大きな一要素として宗教の信仰が大事になっていくと思うので、ぜひ今後考えていきたいです。

所属班 忍辱班

渡辺 浩平

## ① 仏教章研修会全体について

習う事全てが新鮮で学校の授業よりもおもしろかった気がしたし、仏教章研修会が思っていた程、大変ではなかったで少し気が楽でした。

## ② 「仏教」について

最初、僕は宗教自体のことを全く知らなくて、馬鹿にしてさえたことも

ありましたが、実際に習ってみると、生きていくのに、役立つものがたいへん多いものなのだなと思いました。

## ③ 「法然上人」について

社会の授業で習っただけだったので実際「何がそんなにすごいのか」と思っていました。知れば知るほど、学問などはげみ、大変な苦勞をしたのだなということがわかってきました。

## ④ 「阿彌陀様」について

今現在、阿彌陀様についてあまりはつきりしないのですが、阿彌陀様を称名することで心豊かになれるとしたら、とてもすばらしいことなのだなと思っています。

## ⑤ 「帰敬式」について

この研修会で一番心の変化が大きかったのは帰敬式でした。「もったいなく」について知り、日常に生かして行こう」という気持ちになりました。

⑦ 「自分自身がこの研修会を終え、今後のスカウト活動に如何に取り組むか」について

自分に自信を持ち、励み、がんばっていききたいと思います。20th WJで仏教国であるタイに行くのでその時に習った事全てを発揮できたらと思います。

所属班 布施班

仲野 直也

## ① 仏教章研修会全体について

念仏のとなえ方や仏さまの話など、今まで知らなかったことがとても多かった。講師のかたの話もおもしろく、とても勉強になった。仏教のことをくわしく知ってものみかたがすこしかわったと思う。これからの生活にいかしていききたいと思います。

## ② 「仏教」について

自分の家が仏教というのは知っていたけど、仏さまの話などはあまりしらなかった。むずかしいことはまだまだわからないけど、これからすこしでも勉強して、自分なりに仏教というものを理解できたいと思います。

## ③ 「法然上人」について

名前をきいたことくらいしかなかったけど、幼いころから仏教のことを勉強したり人々のためにいろいろなことができてすばらしい人だと思ってる。

## ④ 「阿彌陀様」について

南無阿彌陀仏とたくさんいってわたり、くわしいことはよくわからないけど、これからは南無阿彌陀仏ととなえたい。

## ⑤ 「帰敬式」について

今まで、あまり実感がなかったけど、自分が仏教徒になれた気がした。これからは仏教徒として、がんばっていききたい。

## ⑦ 「自分自身がこの研修会を終え、今後のスカウト活動に如何に取り組むか」について

仏教の教えのいみなど考えて、スカウト活動にやくだてられたらいいと思います。仏教徒らしいスカウトになりたい。

所属班 布施班

興 紹 龍 司

## ① 仏教章研修会全体について

初めて会う人々でしたが三日間の間に色々なお世話を受けて、かなり親しくなりました。また、講習は、とても長く感じられ、また講師の隊長のその話の内容はとても自分が浄土宗スカウトとして、役になる話だったと思います。

## ② 「仏教」について

仏教の礼拝も地方によってちがうという事は、初めて知りました。しかし、仏教全体の考えは、みな同じであり、釈迦様の教えは、仏教の目指すこととは、わかりました。

## ③ 「法然上人」について

法然上人は昔、字を知っている人が百人に一人、いや二百人に一人の時代に仏教の大改革を行い、そして、その人々が、極楽へと行くために、ただ念仏を唱えよといった、偉い人だと思いました。

## ④ 「阿彌陀様」について

阿彌陀様は、みな人々の希望の星であり、阿彌陀様の発するその光は、あまねく十方世界を照らすという、とても偉い方だと思いました。

## ⑤ 「帰敬式」について

帰敬式は、仏教徒にとって、とても重要な儀式であり、僧となる人々に三宝をさずけるということでは、多くの人々が受けられたものだと感じ感動

しました。

⑦ 「自分自身がこの研修会を終え、今後のスカウト活動に如何に取り組むか」について

この研修会を終えて、隊にもどったら、カブスカウトやビーバースカウトに釈迦様の教えや法然上人の教えを覚えて、これからは、神仏を大切にしたい。たとえ徳宗でもその信じる気持ちには同じだということを感じて、他宗派の人々とも仲良くスカウト・テイピング活動をしていきたいと思っています。

所属班 禪定班

浜野 正太

## ① 仏教章研修会全体について

予定がギンシリで、とても大変でしたが、ほくは、勉強とか、講習というものは正直すごく楽しかったけど、今回は自分なりによくできたと思います。

## ② 「仏教」について

ふだんの生活では、宗教のことは全然といっていいほど考えていなかったけど、けっこう今回の話を聞いて、もうちょっと自分でも考えてみようと思いました。

## ③ 「法然上人」について

歴史の授業で少し話を聞いたけど、今頃ちゃんとした話を聞いたみたいから、すごくすごい人だということがわかったし、何十年もしゆきようしていたなんてすごいと思いました。

## ④ 「阿彌陀様」について

話を聞いてもよくわからない感じの人(？)だったけど、やっぱり、自分の心のささえになってくれる人だなどと思いました。

## ⑤ 「帰敬式」について

本日は、仏の子っていうと、すこしく固いイメージがあったけど、そんなにむずかしいことでもなくて、自分で自覚してやっていけばいいんじゃないかと思っています。

## ⑦ 「自分自身がこの研修会を終え、今後のスカウト活動に如何に取り組むか」について

もっとできるだけほうしに参加したり、人のためになるようなことをしたり、自分なりに正しく生きていくべきだと思っています。

## 所属班 持戒班

小 侯 功 一

## ① 仏教章研修会全体について

何もかも予想のつかない事ばかりだったと思う。泊まる場所や、内容や、メンバーやら。そのぶん結果的に、新鮮な研修会になった。

## ② 「仏教」について

様々な教えについて名は知っていても、中身は知らなかったもの、大多数。今回少しは分かったかと思う。「人間は生きていく間、苦を味わい続けるものだ」という言葉が良かった。

## ③ 「法然上人」について

これまた名前しか知らなかった。知恩院に行った事はあるが、浄土宗の本山とは思ってもよらなかったほど。努力の人であると実感した。

## ④ 「阿彌陀様」について

人々をお救いくださる方。余談だけれども、今まで見た中で増上寺の阿彌陀像の印象が一番強い。

## ⑤ 「彌散式」について

ようやくここがスタートラインかな、と思った。

## ⑥ 「自分自身がこの研修会を終え、今後のスカウト活動に如何に取り組みか」について

奉仕を甘く見ていたかもしれない。何となく言われたからやっていたような気がする。まずは奉仕活動を「やる気」でやるようにしたい。

## 所属班 精進班

郷 津 陽 祐

## ① 仏教章研修会全体について

今回の研修会は、積極的に参加できてよかった。仏教のことについてもいろいろ知ることができてよかった。

## ② 「仏教」について

仏教は、これから生きていくのにも必要なのかなと思った。もっと勉強をしてこれからの人生に役立てたい。

## ③ 「法然上人」について

法然さんは、みんなが特にまずしい人たちがたすかる方法を一生けんめい調べてみんなに広めた。これこそまさに

にじひの心だと思った。

## ④ 「阿彌陀様」について

阿彌陀様はみんながなれるものかと思った。四苦八苦をのりこえる努力をしたいと思います。

## ⑤ 「彌散式」について

彌散式は歌などをまわすことができるとも感動した。

## ⑥ 「自分自身がこの研修会を終え、今後のスカウト活動に如何に取り組みか」について

三日間勉強をしたことをいつも心の中でとなえ正しい人間(佛)になるようにがんばりたい。

## 所属班 布施班

森 元 一 喜

## ① 仏教章研修会全体について

この研修会をうけた目的は最初は富士章を取得するためだった。しかし、今は何か目的をもっと大きな物にかわったような気がする。すこしい経験になったので、今後もしっかりいこう。

## ② 「仏教」について

学校でも「宗教」の授業があるので、「仏教」については知っているつもりではいたが、聞いてみると知らない話もかなりあった。

## ③ 「法然上人」について

十三才の時に母親に別れられて修行に入られてから、浄土宗を開宗されるまで、いろいろな苦悩があったかと思うが、それを乗り越えて開宗され、その中からたくさんのお話を学んだ。

## ④ 「阿彌陀様」について

「阿彌陀様」といえば、今まで自分ではあんまり知識がなかったが、新たにすこいことをやっただかと思う。ほぼ日本全国の人々が「阿彌陀様」を敬っているし、敬っていないかなければならないのだと思う。

## ⑤ 「彌散式」について

仏の子になって、今も仏に見守られながら生きていくという感じがひしひしと伝わってくるものだった。すこい緊張したがいいものだと思えた。

## ⑥ 「自分自身がこの研修会を終え、今

後のスカウト活動に如何に取り組みか」について

スカウト活動というものはD-I-Pも言われたように宗教を持って活動できるものであるから、彌散式で誓ったことに反しないようにこれをスカウト活動に役立てたい。

## 所属班 精進班

世 川 一 喜

## ① 仏教章研修会全体について

全国からスカウトが集まって来て、知り合いが増えたのはとても良かった。N-Jに行って再会できないのは残念である。

## ② 「仏教」について

二千年以上に渡り、人々の心の支えになったのだからお釈迦様は、世界の歴史中でも、一番に入ってもおかしくはない。

## ③ 「法然上人」について

何年も何年も、人々が幸福になるための道を探し続けたのは、とても立派であると思う。が、その裏には、父の遺言があったのだから、父親も立派な人物であると思う。

## ④ 「阿彌陀様」について

この阿彌陀様の名前が入った念仏で、沢山の人が、希望を持って生活してこれたのだからスゴイ。

## ⑤ 「彌散式」について

とても荘厳な式である。何か、精神的な進歩ができた気がする。

## ⑥ 「自分自身がこの研修会を終え、今後のスカウト活動に如何に取り組みか」について

仏教章を獲得して、富士章への道を歩み続けたい。

## 所属班 持戒班

川 崎 弘 晶

## ① 仏教章研修会全体について

初めは知らない人ばかりで緊張したけれど、時間がたつにつれ打ち解けていって助行などもスムーズにできるようになれたよかった。

## ② 「仏教」について

仏の子として産めないよう、この世

界のためにいろいろと尽くしていきたい。

## ③ 「法然上人」について

幼いころから勇敢で、すこいと思った。これから人生の師として心の中にいてほしい。

## ④ 「阿彌陀様」について

今までの伝説だと思っていたけれど、真実を知ることができ、たいへんうれしく思った。

## ⑤ 「彌散式」について

これからのスカウト活動にとっても大きな影響を与えてくれた。

## ⑥ 「自分自身がこの研修会を終え、今後のスカウト活動に如何に取り組みか」について

この研修会の経験を生かして、そのことが実践できるように日々努力していきたい。

## 所属班 持戒班

石 田 晴 也

## ① 仏教章研修会全体について

朝昼夕の勤行が一番つらかった。研修ノートでは、もれてしまっている所もあるが、これからうめていきたい。

## ② 「仏教」について

正座が大変だけれど、仏教を全体的に好きになれた。

## ③ 「法然上人」について

法然上人については、尊敬する所がありすぎる。たぶん、もともと頭がよかったです。

## ④ 「阿彌陀様」について

阿彌陀様のことを最初は、何か知らなかったけれど、ものすごい人ということがわかった。だから、今現在多くの人が信じているのだと思う。

## ⑤ 「彌散式」について

暗くて、雰囲気には、慣れなかったが、仏教の子になれたかなあという実感があった。

ペンの全国リレー

## スカウトに聞かせる話

その11

### 物理を洗濯しよう

森の中を歩いていたニュートンは、リンゴが木から落ちるのを見、万有引力の法則を発見したといわれます。

リンゴはなぜ落ちたのだった？  
 …皆さんはどう考えますか？…  
 腐ったから落ちたんだと思いませんか？無論引力が無ければ落ちませんし、腐らなくても落ちてきません。両方無いと落ちないから、科学（ブツリ）的に見れば、腐って重力に耐え切れず落ちたと言わなければ、一方的（物理的）だけでなく、もっと大きな目でみるとリンゴは絶えず腐りつつあるのです。リンゴだけでなく総べてのものは移り変わっていく「諸行無常」とお釈迦様は見られたのです。ニュ

ートン式の見方（物理学）とお釈迦さんの見方（宗教）と見方が違うのです。中山正和さんはこれを佛理学とよんでいます。

お釈迦さまは腐って落ちたと思う我々の考え方で、しかも落ちないうちに一生懸命努力しなさいと教えられ説かれたのです。



お釈迦さまは、生後七日目に  
 お母さんを亡くし、どう生きて  
 いくかを考えられたのです。仏  
 様と言うと死んだ人の事を連想  
 しがちですが、死んだ人の事を  
 かいたお経はありません。生物  
 学的には落ちたリンゴに水をや  
 り育てていけば次のリンゴを実  
 らせることも出来るのです。こ  
 れが大きな意味の命です。違う  
 生命として生き続けることがで  
 きるのです。弥陀と言う言葉は

長さをはかるメーターと同じ語  
 源の梵語で、測ると言う意味で  
 す。だから（アミダ）で時間的  
 に量ることの出来ない生命（無

量寿）と空間的に（無量光）と  
 訳してあります。永久の命（光）  
 をあらわす言葉とされています。  
 リンゴは無ければ目でみるこ  
 とも触って感じることも出来ま  
 せん。目・耳・鼻・味・触の五  
 感で情報を得る事が出来無いか  
 らです。しかしお経には心で感  
 じることが出来ると書いてある  
 のです。心で想像し、（六感）夢  
 に見る（七感）、仏の心（八  
 感）…とつづいています。

物と心を比べたら心の方が大  
 切なのです。言い換えれば物理  
 的見方と人の心としての見方の  
 違いです。亡くなった人、たと  
 えはお釈迦さまの事を心に思っ  
 ていれば、お釈迦さまが貴方の  
 心に生きていると同じだと説く  
 のです。生物学的生命と宗教的  
 生命は違うのです。心の分析を  
 説いた難しいお経もあります、  
 なぜよい心が悪くなるか？その  
 原因を説いているのです。お釈  
 迦様の教えは心の事を説いた仏  
 理学です。  
 お釈迦様の居られた頃には仏

像も教典も無かったです。解からない事は直接お釈迦様に聞けばよいのでお経は必要なく、お釈迦様のような偉い方は字や絵で表せないとして、お弟子の絵はあってもお釈迦様の絵像は無かったです。

インドからアフガニスタンの方へ伝わってお釈迦様のイメージを得られる様に仏像が作られ、お釈迦様が亡くなられて百から数百年の間に作られ始めたと言われます。アフガニスタンのバミヤンでは奈良の大仏の四倍もの高さ（五三m）の仏像が作られて在ったのです。

心は自分の力で直すもので他人に押し付けられて直せるものではないです。したがって佛教に宣教師は居ないのです。三蔵法師（玄奘）もシルクロードを命がけてインドへお経を取りに行ったのです。最澄も空海さんも同様です。お釈迦様の教えは教会に行って神の教えを聞くのとは違って自分で求め、悟りを得る教えです。仏（理想的な

人間）になる心の教えです。（「頂きます」はご馳走だけでなく肉や魚・野菜や穀物の命を頂いて生かされている事を毎日確認す

行する教えです。仏でない（菩薩かな？）私たちは、ともすれば悪い心、忘れた心も起ります。人間である以上やむをえないこ



る事です。

他の命を残して腐らせる事は出来にくいのです。

教会に行かなくても自分で実

とでしよう。その時には心の洗濯をして念仏を唱えてみて下さい。お父さんの怖い顔や、お母さんの悲しい顔を思い出すで

しよう。つらい時はおじいちゃん、おばあちゃんのおまじの顔を思い出すかも知れません。悪い心を消してくれるでしよう。何も難しいお経に頼らず、心を綺麗に洗濯する方法として（いつでも・どこでも誰でも出来る）方法として、法然上人は、たくさんのお経のなかからなむあみだぶつと唱えることを選択されたのです。

心を綺麗にいつも洗濯するだけで仏になれるとこわれたのです。

弗という字はドチラアモナイと言う字です。沸騰するのは水でもお湯でもどちらでもないと言の意味です。仏と言う字はイ（にんべん）が付いていますから何を意味するか考えてみてください。インドは数字のゼロを発見した国で、お経にはやたらと数字が出てきます。I・T情報もアメリカに次いで盛んな国だそうで、皆さんもお釈迦様の佛理学で念仏を選択して心の洗濯をしてください。

# 今この頃では… 各地のスカウトだより

「豊かな心を！」

ボーイスカウト 台東第四団  
副団委員長 岡本 稔枝

台東第四団は、今年も団の motto「和」を軸に、楽しい活動の展開をめざして、心をひとつにして行きたいと思っています。スカウト経験を活かして頑張っている若い指導者が大勢育って来ました。スカウトに良い刺激をあたらせています。英会話教室、茶道体験教室を月一回土曜日に実施し、スカウトだけでなく、ご家庭の皆さんにも楽しんでいただけるよう、四月からプログラムを企画しております。今年度の夢のある課題です。学校週五日制の実施の社会状況を受けとめて、余暇活動の活用や、



学校、家庭、地域との連携を大切に運営をしていきたいと思いはふくらみます。そして、宗教の情操教育を活動にとりくみ、豊かな心をスカウトも指導者も育んでいくことを、こころがけたいと考えております。

「牧達玄団委員  
兼ビーバー隊長の  
晋山式開筵」

ボーイスカウト草津第二団  
委員長 青地 治郎

滋賀教区湖南組西方寺第三十一世海誓達雄師（現総本山知恩院執事長）の御勇退に伴い、平成十三年十月八日に徳達達雄師が第三十二世として浄土宗御門主より住職を拝命されました。これ偏に檀家の皆様方と共にボーイスカウト草津第一団としてもこれ以上の歓びは御座いません。当日はガールスカウト滋賀第二十三団のガールスカウトと共に子ども鑑講念仏を奉納して心からのお祝いを致しました。さらに前任職海誓達雄師には総本山知恩院から「中興号」が授与されました。当山にとりましてはこの上ない幸慶事に存じます。今後はスカウト運動を通して一層信仰を深め、社会に役立つ人間として成長するよう精進することをお誓い申し上げる次第であります。

「感謝の気持」

ボーイスカウト大阪第二二四団

当団は大阪の南東平野区を中心に活動をしています。平野区の中でも旧平野郷と云う歴史的にも古い町で、今でも家並が残っており、神社やお寺も多く宗教的な行事に接する機会も多く、スカウトにも手を合わせる事の意義を教えて来たのです。

団本部は満願寺の一部をお借りし、御住職にも育成会長をして頂き、色々と御協力していただいています。

毎年一月の始めの新年集会には全スカウト、リーダー、団委員でお寺へお参りし、御住職からお話を聞く事で最初の隊活動が始まります。

御住職のお話の中で、いついかなる時でも感謝の気持を持つ事が大切だと話され、又涙を流す事も必要な事だと、喜びの涙、悲しみの涙、悔しい時の涙、涙を出す事の大切さ、意味の深さを教えられたのです。この事を大切に一年間活動して子供達にいい思い出を残せればと念じています。



「ボーイスカウト大阪  
第七一団の近況報告」

ボーイスカウト大阪第七一団  
土田 邦樹

当団の平成十三年度のスカウトの状況をお知らせします。ビーバー隊が七月に、生駒山麓にて、一泊舎営を大塚裕子隊長のもとに、一泊宿舎を行いました。

又、本山で行われたおてつき（こども奉仕団の第十一ブロックに、田中貴之、田中真代、中野皓介、正木 光君らの四名のスカウトが、台風接近の報があるにもかかわらず参加し、友達の手を助けた。

又カブ隊、ボーイス隊はそれぞれ播磨灘家島諸島の無人島に於て、夏期キャンプを実施した。

大阪連盟主催の「森の教室」を三回にわたって、幼稚園児から小学校低学年を対象に開催した。

又、十一月には団本部（網島大長寺）に於て檀信徒を対象とした「五重相伝」が開催され、スカウトの母親達が多数奉仕を行った。

又、来年八月大阪で開催される、第十三回日本ジャンボリーには、ボーイス隊隊長、伊藤 茂氏の派遣隊長に決定し、上級班長、外山直哉君、派遣スカウトには、古田真司、米田裕介、中野皓介、田中貴之の計六名の参加決定を見た。

又、十二月には、タイで開催される第二十回世界ジャンボリーには、落合章二、堀田雅之、田中貴之君の三名の参加決定している等、ボーイスカウト活動への積極性が見られ、今後の益々の発展を期待して見ます。



# 栄誉を讃えましょう

浄土宗仏教章授与スカウト  
(平成十三年四月～平成十四年一月)

団	人数	発送日	氏名	寺院名	教導職
塩釜	4	13. 7. 2	伊藤洋平	雲上寺	東海林良雲
塩釜	4	13. 7. 2	後藤綾一	雲上寺	東海林良雲
塩釜	4	13. 7. 2	八巻成孝	雲上寺	東海林良雲
塩釜	4	13. 7. 2	賀川慶吉	雲上寺	東海林良雲
塩釜	4	13. 7. 2	八巻英幸	雲上寺	東海林良雲
塩釜	4	13. 7. 2	賀川直	雲上寺	東海林良雲
板橋	4	13. 7. 2	荻原亮介	清光寺	岡本圭示
練馬	14	13. 7. 2	野々山晋平	清光寺	岡本圭示
檀原	8	13. 7. 2	中谷祐也	正栄寺	吉水徹間
町田	7	13. 7. 18	北原皓天	清光寺	岡本圭示
西宮	25	13. 9. 4	北野慎治	総本山知恩院	東海林良雲
八王子	5	13. 10. 5	熊田光流	乗雲寺	木村良成
上田	13	13. 10. 5	桜井範夫	呈蓮寺	横内浄真
箕輪	1	13. 11. 28	唐沢俊一	長久寺	岩波昭賢
川崎	55	13. 11. 28	堀越健太	正覚寺	津田徳誠
港	15	13. 11. 28	並木優幸	清光寺	岡本圭示
港	15	13. 11. 28	石澤真太郎	清光寺	岡本圭示
飯田	1	14. 1. 18	矢崎文規	柏心寺	安静達祐
飯田	1	14. 1. 18	今村太朗	柏心寺	安静達祐
温泉	1	14. 1. 24	中野圭	不諭院	村岡正道
松山	15	14. 1. 24	島津圭輔	不諭院	村岡正道
松山	15	14. 1. 24	相原隆史	不諭院	村岡正道
大阪	124	14. 1. 24	浜田恵介	満願寺	小林昭五
大阪	124	14. 1. 24	宅川勇佑	満願寺	小林昭五
大阪	124	14. 1. 24	木村貴浩	満願寺	小林昭五

# 浄土宗スカウト北米ハワイ派遣団を準備中

平成15年度夏

浄土宗スカウト連合協議会では、第七回浄土宗スカウト海外派遣団を平成十五年の夏季休暇に実施すべく準備をすすめておりますので多くのスカウト・スカウターの参加をお願い申し上げます。

浄土宗スカウト連合協議会ではこれまで六回の海外派遣を実施してまいりました。

ハワイ派遣が主でしたが、前々回より北米開教区までを巡拝する大行事になっていきます。

日程・経費その他常任理事会で審議の上決定されますので、決定次第早急に皆様にお知らせいたします。

先頃知恩院にロス近郊のオレンジスカウトが来られて、知恩院あおい団と交流しておりますのでその折に来年度浄土宗スカウトの訪米団との交流をお願いしております。

この機会にハワイのスカウト北米スカウトと親善を深めて国際的視野を広めるとともに、浄土宗スカウトとしての信行を奨励して道心を深めていただきたいと思えます。是非ご参加下さいますようお願いいたします。



第6回海外派遣団ロスアンゼルスにて

## 浄土宗スカウトの御袷袋が出来ました

此の度、以前から、浄土宗スカウト連合協議会で会員用の袷袋の作製が話題にでていましたが第十三回日本ジャンボリー宗教礼拝にあわせて素晴らしい袷袋を製作いたしましたのでお知らせいたします。

他の教団にもこれまで無かったようですから、注目を集めることでしょう。



袷袋は、スカウトで仏教章取得者にはどなたにでも販売しますので浄土宗スカウト連合協議会にお申し込み下さい。

スカウトとスカウターでは紐の色が異なりますが、いずれも定価一、五〇〇円です。



スカウト浄土(第二十二号)

発行/平成十四年三月二十日

京都市東区林下町

浄土宗事務庁社会局内

浄土宗スカウト連合協議会

編集者/東海林 良 雲

印刷/利商印刷株式会社